



鶴岡地区安管協 創立50周年祝う

事故防止へ誓い新た

鶴岡地区安全運転管理者協議会（難波真一会長）の創立50周年記念式典が15日、鶴岡市のグランドエル・サンで行われ、関係者が交通事故防止への誓いを新たにした。

同協議会に加盟する事業所の従業員ら約200人が出席。難波会長が「名実共に社会的責任を果たすよう、今後も交通事故防止の

感謝状を受け取る難波真一会長（右）＝鶴岡市・グランドエル・サン

諸対策に全力を尽くす」とあいさつした。交通安全活動に尽力したとして、県警本部から同協議会に、同協会と鶴岡警察署の連名で佐藤元伸前同協議会長ら4

人に感謝状が贈られた。祝賀会では県警察官友の会会長の寒河江浩一山形新聞社長の前頭で乾杯し、歓談した。

同協議会は1967（昭和42）年に発足した。同管内の約400事業所が加盟し、交通安全活動を展開している。